

市民百景

第
33
回

県王者のその先へ

釜石の若き力士が描く全国への道

甲子中学校3年 荒屋 和成さん (15)

甲子中学校3年の荒屋和成さんが、県中学校総合体育大会相撲競技で学年別3年連続優勝、無差別級2位という好成績を収めました。

荒屋さんが相撲と出会ったのは小学6年生の頃。幼い頃から空手や柔道、キックボクシングなど数々の武道を経験してきましたが、相撲道場のコーチから声をかけられたのがきっかけでした。わずか1カ月の稽古で臨んだ初めての県大会で、初出場ながら2位に入ることが自信となり、本格的に相撲へ取り組みようになったといいます。現在は大槌町の小原道場に通い、稽古を重ねています。指導にあたる小原監督は「まだ経験は浅いが、伸びしろは大きい。まだまだこれから」と期待を寄せます。

昨年も全国大会に出場しましたが、惜しくも決勝トーナメント進出は叶いませんでした。「県内では自分より大きい選手はあまりいませんでしたが、全国では自分が小さい方でした」と全国のレベルの高さを肌で感じたといいます。

8月22日(土)・23日(日)に鳥取県で開催される全国大会に向け「落ち着いて芯を捉える相撲をし、去年を上回るベスト16に残りたい」と意気込む和成さん。これまでの練習の成果と周囲の期待を胸に全国の舞台での活躍を誓います。



「すこやかアイドル」では、お子さんの笑顔とご家族のメッセージを紹介します。1～5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか？市オープンシティ・プロモーション室（☎27-8463）または市のホームページからご連絡ください



そら
川崎 大空 ちゃん
(2歳)
いっぱい遊んで
楽しく過ごそうね。



そう た
平松 想大 くん
(3歳)
たくさん遊んで
大きくなろうね！



し おう
三浦 士旺 くん
(3歳)
いつも元気いっぱい!!
これからも沢山遊ぼうね!!



釜石市 LINE 【公式】



釜石市 X 【公式】



釜石市 Instagram 【公式】

